

議案第 6 1 号

平成 3 0 年度墨田区立小・中学校募集人数について

上記の議案を提出する。

平成 29 年 9 月 7 日

提出者 墨田区教育委員会教育長 加藤 裕 之

( 提案内容 )

別紙のとおり決定する。

( 提案理由 )

墨田区学校選択制度実施要綱第 4 条の規定に基づき、決定する必要がある。

平成30年度 墨田区立小・中学校  
募 集 人 数 一 覧

小学校名	通学区域内の住 民基本台帳児童 数9月1日現在	募集人数 (受入可能数)	
		児童数	学級数
緑	102	募集中止	
外手	93	93	3
二葉	95	募集中止	
錦糸	86	86	3
中和	41	50	2
言問	38	50	2
小梅	61	85	3
柳島	84	85	3
業平	67	85	3
両国	60	85	3
横川	65	募集中止	
菊川	57	85	3
第三吾孺	58	85	3
第四吾孺	38	50	2
第一寺島	53	85	3
第二寺島	68	85	3
第三寺島	53	53	2
曳舟	70	募集中止	
中川	64	64	2
東吾孺	40	50	2
押上	75	85	3
八広	117	募集中止	
隅田	76	募集中止	
立花吾孺の森	68	85	3
梅若	87	87	3

中学校名	通学区域内の住 民基本台帳生徒 数9月1日現在	募集人数 (受入可能数)	
		生徒数	学級数
墨田	160	180	5
本所	165	180	5
両国	187	220	6
豎川	117	140	4
錦糸	190	220	6
吾孺第二	123	140	4
寺島	89	140	4
文花	199	220	6
桜堤	233	233	6
吾孺立花	130	140	4

募集人数は、各小中学校の学区域内に居住する児童・生徒数、各学校施設の現況等から設定しました。  
通学区域の学校を希望する方は、受入人数にかかわらず全員入学できます。  
ただし生活実態のない住所による通学区域の学校への入学はできません。  
通学区域内の入学予定者数が増えた場合は、学級数を増やす場合がありますが、通学区域外からの受入は  
できません。

## 「墨田区学習状況調査」の結果について

## 第 1 平成 29 年度 調査の概要

## 1 本調査の位置付け

本調査は、墨田区学力向上新3か年計画（平成28～30年度）における、「今後3年間（平成30年度）に達成する目標」の達成に向けた、初年度（平成28年度）の進捗状況を検証するものである。

目標 1 各学年（小学2年生から中学3年生）の「D・E層の児童・生徒」の割合の減少

【D・E層の児童・生徒の割合の目標】 (単位：%)

	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
国語	15	25	30	30	30	30	30	30
社会			25	30	35	35	40	45
算数・数学	15	25	25	30	30	35	35	35
理科			25	30	35	40	40	45
英語							35	35

目標 2 「読む能力」「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」の区平均正答率が全国平均値以上となること（小学2年生から中学3年生）

目標 3 「思考・判断力」の区平均正答率が全国平均値以上となること（小学2年生から中学3年生）

## 2 調査の目的

- (1) 墨田区教育委員会は、児童・生徒に確かな学力を身に付けさせ、自ら学び、課題解決できる区民を育成する施策等に資するための基礎データを得る。
- (2) 墨田区立各小・中学校は、授業改善プランを策定し、授業改善の取組を積極的に進めるために、自校の実態や児童・生徒一人ひとりの学習状況を把握する。

## 3 調査実施日及び調査対象

- (1) 実施日 平成29年4月27日（木）
- (2) 対象 小学校第2学年から中学校第3学年までの原則として全児童・生徒
- (3) 内容 学習到達度調査 及び 意識調査

## 4 平成29年4月27日（木）に受検した児童・生徒数

(単位：名)

	学年	学習到達度調査					意識調査
		国語	社会	算数・数学	理科	英語	
小学校	第2学年	1,660		1,660			1,685
	第3学年	1,584		1,585			1,604
	第4学年	1,507	1,509	1,510	1,509		1,553
	第5学年	1,589	1,592	1,592	1,591		1,613
	第6学年	1,478	1,478	1,478	1,479		1,500
中学校	第1学年	1,235	1,234	1,233	1,231		1,251
	第2学年	1,257	1,257	1,258	1,256	1,255	1,271
	第3学年	1,255	1,255	1,256	1,256	1,253	1,272

## 5 学習到達度調査の基本的な考え方

学習到達度調査では、各教科の設問ごとに【目標値】を定め、児童・生徒の【正答率】がこの【目標値】に対して、- 5ポイント以上から+ 5ポイント未満の間であった場合、目標値と同程度としている。

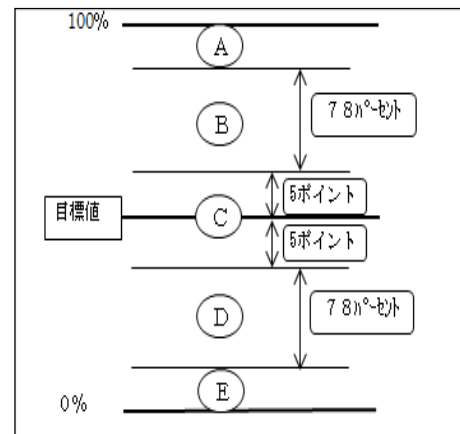
**【目標値】** 学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童・生徒の正答率を示したもの。

出題形式や解答形式によって算出され、ブレテストなどによって補正されている。

目標値に対して、「- 5ポイント以上+ 5ポイント未満」であった場合、目標値と同程度と見なし、C層とする。また、C層より正答率が高い層のうち、直近の78パーセントをB層、さらにその上をA層とする。また、D層、E層についても同様の考えとする。

観点ごとの目標値は、設問ごとに設定された目標値から算出されている。

**【平均正答率】** 正答率の平均値のこと。観点における学年のデータとして用いる場合は、その観点の全設問における学年集団の正答率の平均値



## 第2 平成29年度 調査結果

### 1 区平均正答率と全国平均正答率・目標値との比較について

(1) 小学校 目標値は、標準的な時間をかけて学んだ場合、期待される正答率を示したもの。(単位:%)

教科	観 点	第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
		目標値	区平均 全国平均	目標値	区平均 全国平均	目標値	区平均 全国平均	目標値	区平均 全国平均	目標値	区平均 全国平均
国語	国語への 関心・意欲・態度	75.6	81.1 81.0	65.6	74.5 71.8	68.1	74.0 68.3	65.6	77.8 76.4	65.6	71.3 70.6
	話す力・聞く能力	71.0	75.8 75.3	63.0	72.6 67.8	71.1	74.8 70.6	75.0	87.5 87.4	60.0	67.2 67.6
	書く能力	78.1	84.6 84.8	65.6	75.7 74.3	61.4	69.7 62.3	58.5	72.1 70.2	67.3	70.7 70.0
	読む能力	66.4	71.2 69.6	64.3	75.3 70.9	63.9	75.0 68.9	73.4	81.3 79.7	72.2	78.5 78.3
	言語についての 知識・理解・技能	90.0	95.4 95.7	80.9	90.1 89.1	67.4	75.3 72.8	68.4	72.9 72.9	69.2	74.6 74.9
社会	社会的事象への 関心・意欲・態度					64.5	69.0 62.9	66.0	70.5 68.5	64.2	66.3 68.5
	社会的な 思考・判断・表現					63.7	69.7 65.5	65.2	66.9 68.4	65.0	66.7 67.7
	観察・資料活用 の技能					71.3	75.9 75.1	67.9	67.4 69.0	69.4	70.0 72.2
	社会的事象につい ての知識・理解					76.4	81.4 78.6	70.2	73.2 71.8	68.3	70.1 70.9
算数	算数への 関心・意欲・態度	65.6	66.8 66.5	56.5	60.1 58.2	67.5	75.0 71.0	59.3	62.5 62.8	40.0	40.0 37.2
	数学的な考え方	70.7	72.1 72.5	63.9	71.4 68.6	60.6	69.3 66.1	60.2	62.5 63.8	56.1	54.7 56.1
	数量や図形に ついての技能	82.5	86.5 86.2	76.9	80.9 80.0	76.1	81.5 79.8	71.4	72.1 74.2	71.0	69.0 71.7
	数量や図形につい ての知識・理解	83.1	84.6 84.6	69.8	76.2 75.6	74.0	80.8 77.0	70.3	70.9 72.6	68.6	67.2 69.9
理科	自然事象への 関心・意欲・態度					67.7	69.1 73.0	61.1	60.4 66.3	70.4	69.5 77.2
	科学的な 思考・表現					58.4	62.2 62.5	54.8	50.0 56.3	62.6	61.7 67.7
	観察・実験の技能					64.4	64.7 66.5	71.3	75.8 79.3	60.0	56.5 64.4
	自然事象につい ての知識・理解					67.2	69.7 71.5	66.3	64.9 70.7	68.2	66.5 73.1

区平均正答率が、全国平均正答率以上である観点

区平均正答率が、全国平均正答率よりも低い、全国平均正答率の - 5ポイント以上である観点

区平均正答率が、全国平均正答率の - 5ポイント未満である観点

#### < 区平均正答率と全国平均正答率との比較について >

- ・ 区平均正答率が全国平均正答率以上である観点は、昨年度は全69観点中17観点であったが、本年度は39観点と大きく増加している。
- ・ 国語は、第2・6学年の一部の観点を除いて、区平均正答率が全国平均正答率以上である。
- ・ 社会は、第5・6学年の多くの観점에서、区平均正答率が全国平均正答率より低い。
- ・ 算数は、第5・6学年の多くの観점에서、区平均正答率が全国平均正答率より低い。
- ・ 理科は、全ての観점에서、区平均正答率が全国平均正答率より低い。特に、第5・6学年の多くの観점에서、区平均正答率が全国平均正答率の - 5ポイント未満である。

## (2) 中学校

目標値は、標準的な時間をかけて学んだ場合、期待される正答率を示したもの。(単位:%)

教科	観 点	第1学年		第2学年		第3学年	
		目標値	区平均 全国平均	目標値	区平均 全国平均	目標値	区平均 全国平均
国語	国語への 関心・意欲・態度	66.7	73.4 71.5	65.6	67.6 64.1	67.2	68.1 70.6
	話す・聞く能力	67.7	73.4 71.9	61.1	61.3 61.2	72.5	66.3 70.5
	書く能力	60.4	67.4 65.7	66.3	72.1 65.7	61.8	69.4 70.2
	読む能力	65.3	71.6 70.0	59.0	65.6 64.6	62.4	70.3 70.6
	言語についての 知識・理解・技能	72.6	77.0 78.4	74.4	79.0 78.7	72.6	75.3 76.2
社会	社会的事象への 関心・意欲・態度	55.7	52.5 57.8	52.3	48.1 51.3	51.3	49.9 52.5
	社会的な 思考・判断・表現	56.1	53.7 58.2	48.0	42.8 45.4	49.0	44.5 47.2
	資料活用の技能	62.0	58.8 62.8	55.7	51.8 54.9	57.1	52.3 55.9
	社会的事象についての 知識・理解	60.0	52.7 57.9	56.4	49.5 54.4	59.4	55.1 59.4
数学	数学への 関心・意欲・態度	58.2	57.5 59.9	51.7	50.7 51.8	52.0	51.5 53.5
	数学的な見方や考え方	59.2	57.5 59.6	49.2	48.1 49.4	54.5	53.2 55.4
	数学的な技能	71.5	73.5 73.8	62.1	62.1 61.7	62.2	62.8 63.0
	数量や図形などに ついての知識・理解	58.2	56.8 59.6	53.1	51.7 53.7	59.3	59.2 60.0
理科	自然事象への 関心・意欲・態度	57.3	53.5 60.0	49.4	43.2 46.7	58.0	55.0 60.3
	科学的な思考・表現	58.9	56.8 62.7	50.2	45.3 47.9	51.5	50.5 53.5
	観察・実験の技能	74.2	74.6 78.4	61.4	58.0 60.5	64.4	54.0 61.5
	自然事象についての 知識・理解	57.0	47.6 56.6	59.1	53.2 58.0	60.3	57.0 62.8
英語	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度			65.0	67.6 67.6	63.3	64.3 64.8
	外国語表現の能力			53.8	53.1 54.4	49.1	47.5 47.9
	外国語理解の能力			61.4	61.2 61.0	68.3	72.3 72.8
	言語や文化についての 知識・理解			62.9	60.8 62.4	65.4	70.4 69.6

区平均正答率が、全国平均正答率以上である観点

区平均正答率が、全国平均正答率よりも低い、全国平均正答率の - 5ポイント以上である観点

区平均正答率が、全国平均正答率の - 5ポイント未満である観点

## &lt; 区平均正答率と全国平均正答率との比較について &gt;

- ・ 区平均正答率が全国平均正答率の - 5ポイント未満である観点は、昨年度は全59観点中17観点であったが、本年度は8観点と大きく減少している。
- ・ 国語は、第3学年の全ての観点で、区平均正答率が全国平均正答率より低い。
- ・ 社会は、全ての観点で、区平均正答率が全国平均正答率より低い。
- ・ 数学は、ほとんどの観点で、区平均正答率が全国平均正答率より低い。
- ・ 理科は、第1・3学年の多くの観点で、区平均正答率が全国平均正答率より5ポイント以上低い。
- ・ 英語は、ほとんどの観点で、区平均正答率と全国平均正答率がほぼ同等である。

【参考】平成28年度 調査結果

(1) 小学校

目標値は、標準的な時間をかけて学んだ場合、期待される正答率を示したもの。(単位:%)

教科	観 点	第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
		目標値	区平均 全国平均	目標値	区平均 全国平均	目標値	区平均 全国平均	目標値	区平均 全国平均	目標値	区平均 全国平均
国語	国語への 関心・意欲・態度	73.8	77.8 79.8	61.9	61.2 60.5	69.4	73.3 74.6	63.8	66.4 66.6	67.5	70.4 73.9
	話す力・聞く能力	75.0	81.9 82.4	63.8	66.0 64.9	72.2	78.2 78.3	69.4	75.6 75.4	71.7	77.9 80.6
	書く能力	70.0	72.1 75.0	59.4	57.2 56.3	62.7	64.1 66.7	55.5	55.2 56.1	64.6	65.1 69.3
	読む能力	72.5	77.2 76.7	65.7	67.9 66.0	67.5	70.9 69.4	68.2	71.8 70.9	67.5	73.4 75.8
	言語についての 知識・理解・技能	88.9	93.4 94.4	83.2	86.4 85.8	72.2	73.4 73.9	69.6	73.9 75.1	67.2	68.9 71.2
社会	社会的事象への 関心・意欲・態度					44.3	38.6 44.9	51.3	54.2 55.3	59.2	61.1 63.9
	社会的な 思考・判断・表現					46.9	41.3 47.2	51.3	54.2 55.3	59.6	62.1 65.0
	観察・資料活用 の技能					59.0	54.2 59.5	54.8	54.0 53.1	61.3	66.9 69.8
	社会的事象につい ての知識・理解					63.1	57.2 63.5	63.8	64.3 64.0	65.5	63.6 68.2
算数	算数への 関心・意欲・態度	71.1	74.7 74.9	59.0	57.4 56.4	67.5	68.5 67.6	60.8	60.3 59.2	55.0	47.3 51.9
	数学的な考え方	74.5	75.4 76.6	63.0	64.0 62.9	58.1	57.0 59.2	59.4	60.3 61.3	60.6	56.4 60.9
	数量や図形に ついての技能	85.4	87.9 88.7	78.1	79.1 79.2	75.6	76.4 78.0	71.3	69.1 71.8	72.7	68.0 73.1
	数量や図形につい ての知識・理解	84.1	88.2 87.8	66.1	65.9 67.4	77.0	77.9 78.2	65.0	63.7 64.7	70.2	65.4 71.3
理科	自然事象への 関心・意欲・態度					65.0	63.3 62.9	64.4	63.4 66.1	64.2	60.8 65.5
	科学的な 思考・表現					60.3	58.2 59.0	61.1	60.0 64.0	59.2	55.2 60.1
	観察・実験の技能					60.4	59.3 59.9	65.0	66.8 69.7	63.1	58.8 63.6
	自然事象につい ての知識・理解					68.7	68.4 69.7	65.6	65.2 68.5	71.2	68.6 73.3

区平均正答率が、全国平均正答率以上である観点

区平均正答率が、全国平均正答率よりも低い、全国平均正答率の - 5ポイント以上である観点

区平均正答率が、全国平均正答率の - 5ポイント未満である観点

## (2) 中学校

目標値は、標準的な時間をかけて学んだ場合、期待される正答率を示したもの。(単位:%)

教科	観 点	第1学年		第2学年		第3学年	
		目標値	区平均 全国平均	目標値	区平均 全国平均	目標値	区平均 全国平均
国語	国語への 関心・意欲・態度	66.7	70.5 68.3	72.2	77.4 75.5	63.9	64.7 66.1
	話す・聞く能力	70.0	75.7 74.3	70.6	74.1 74.7	68.9	73.3 75.7
	書く能力	59.6	62.2 59.2	70.7	77.5 73.9	58.3	55.7 56.4
	読む能力	54.5	57.0 55.9	61.4	67.0 66.3	58.3	62.3 63.5
	言語についての 知識・理解・技能	66.6	68.3 68.8	71.2	75.7 75.2	65.4	66.9 69.7
社会	社会的事象への 関心・意欲・態度	51.7	46.9 50.9	53.0	49.0 54.5	52.5	47.9 53.0
	社会的な 思考・判断・表現	49.8	46.3 50.8	53.5	49.6 54.3	50.4	47.8 51.2
	資料活用の技能	53.9	49.9 53.6	56.1	51.3 56.7	54.4	50.3 54.0
	社会的事象についての 知識・理解	56.4	50.0 55.4	55.7	49.9 56.2	57.0	51.8 57.0
数学	数学への 関心・意欲・態度	67.1	67.1 68.9	58.1	58.0 59.1	46.7	43.5 46.2
	数学的な見方や考え方	65.7	66.2 67.4	55.5	55.0 56.2	49.3	46.5 49.2
	数学的な技能	74.5	73.1 75.0	61.3	61.8 61.5	60.5	60.8 61.2
	数量や図形などに ついての知識・理解	65.4	63.2 65.4	57.3	56.4 58.1	58.2	59.4 59.3
理科	自然事象への 関心・意欲・態度	64.7	63.3 68.9	55.3	42.9 49.1	52.8	45.5 50.6
	科学的な思考・表現	64.9	61.7 68.1	55.0	46.5 51.3	52.2	43.4 49.3
	観察・実験の技能	67.9	65.7 71.5	48.9	29.4 38.9	50.0	36.7 46.6
	自然事象についての 知識・理解	59.4	53.2 59.0	57.9	47.5 54.0	58.6	51.8 58.0
英語	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度			62.0	61.5 63.0	62.7	62.1 64.0
	外国語表現の能力			48.8	44.7 49.6	47.8	42.8 45.5
	外国語理解の能力			65.8	67.8 68.1	65.0	66.0 67.5
	言語や文化についての 知識・理解			66.7	62.3 66.8	60.4	60.5 60.5

区平均正答率が、全国平均正答率以上である観点

区平均正答率が、全国平均正答率よりも低い、全国平均正答率の - 5ポイント以上である観点

区平均正答率が、全国平均正答率の - 5ポイント未満である観点



2 D・E層の児童・生徒の割合の推移について

D・E層とは、目標値に対して - 5ポイント未満の(学力の定着に課題のある)児童・生徒の割合である。

なお、各層の割合は小数第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100にならない場合がある。

(1) 小学校

(単位：%)

学年	教科	各層に属する児童の割合(29年度)					D・E層に属する児童の割合				目標
		A層	B層	C層	D層	E層	26年度	27年度	28年度	29年度	
2年	国語	16.0	44.8	20.8	18.3	0.2	18.4	18.9	21.8	18.5	15
	算数	14.0	34.9	27.9	23.1	0.1	17.2	17.3	20.4	23.2	15
3年	国語	25.9	47.6	11.4	14.3	0.8	29.9	32.1	27.7	15.1	25
	算数	4.3	59.9	15.0	20.7	0.1	28.3	29.3	33.4	20.8	25
4年	国語	11.2	55.4	13.3	19.8	0.3	36.8	43.7	30.9	20.1	30
	社会	15.8	48.2	11.6	24.1	0.3	29.3	34.7	48.6	24.4	25
	算数	13.8	48.2	18.1	19.5	0.5	33.8	28.9	32.7	20.0	25
	理科	6.2	48.9	18.6	25.5	0.9	38.4	33.8	34.7	26.4	25
5年	国語	14.1	50.7	15.3	19.4	0.5	33.9	32.6	31.2	19.9	30
	社会	3.0	44.7	19.0	32.7	0.8	30.0	40.6	39.7	33.5	30
	算数	10.4	39.0	18.4	30.7	1.5	35.8	37.7	35.0	32.2	30
	理科	2.4	36.1	20.6	39.8	1.0	48.4	41.9	34.4	40.8	30
6年	国語	10.8	49.8	16.5	22.2	0.7	30.8	33.3	29.7	22.9	30
	社会	7.6	42.0	16.8	32.8	0.7	34.9	48.4	38.9	33.5	35
	算数	6.6	37.0	17.3	38.1	1.0	35.5	39.4	43.3	39.1	30
	理科	6.2	35.9	17.9	39.4	0.6	46.0	37.5	42.3	40.0	35

(2) 中学校

(単位：%)

学年	教科	各層に属する生徒の割合(29年度)					D・E層に属する生徒の割合				目標
		A層	B層	C層	D層	E層	26年度	27年度	28年度	29年度	
1年	国語	6.8	55.7	13.6	23.3	0.6	28.4	34.7	30.0	23.9	30
	社会	0.6	32.5	17.6	48.5	0.7	39.3	35.9	55.0	49.2	35
	数学	5.2	44.8	15.2	34.1	0.6	41.6	36.9	37.9	34.7	35
	理科	1.1	30.9	21.0	46.3	0.8	48.3	43.4	46.4	47.1	40
2年	国語	8.5	48.0	18.5	24.4	0.6	30.3	37.3	25.5	25.0	30
	社会	0.6	29.8	14.9	53.9	1.0	54.6	54.7	51.1	54.9	40
	数学	4.5	38.6	15.5	38.8	2.7	37.6	41.9	40.2	41.5	35
	理科	1.8	29.9	18.7	48.1	1.5	48.8	54.0	61.5	49.6	40
	英語	4.6	38.5	17.1	38.6	1.3	36.6	40.7	43.5	39.9	35
3年	国語	6.5	50.4	14.7	27.6	0.7	29.9	35.1	31.5	28.3	30
	社会	0.6	32.8	17.8	48.0	0.7	55.6	54.4	50.3	48.7	45
	数学	9.2	36.9	12.0	39.3	2.5	40.6	39.8	42.7	41.8	35
	理科	1.6	35.1	17.2	45.1	1.0	56.2	52.9	57.5	46.1	45
	英語	8.3	45.1	14.2	32.0	0.4	36.6	38.6	40.2	32.4	35

■ は、学力向上新3か年計画の目標を達成している教科である。

< 墨田区学力向上新3か年計画における目標の達成状況 >

D・E層の児童・生徒の割合が、学力向上新3か年計画における目標を達成している教科の数は、小学校は全16教科中8教科、中学校は全14教科のうち5教科である。

国語は、小学校第2学年以外の全ての学年において目標を達している。理科は、全ての学年において目標を達していない。

3 「読む能力」「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」の平均正答率について

(1) 小学校

(単位：%)

観点	第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	墨田区	全国	墨田区	全国	墨田区	全国	墨田区	全国	墨田区	全国
読む能力	71.2	69.6	75.3	70.9	75.0	68.9	81.3	79.7	78.5	78.3
書く能力	84.6	84.8	75.7	74.3	69.7	62.3	72.1	70.2	70.7	70.0
言語についての知識・理解・技能	95.4	95.7	90.1	89.1	75.3	72.8	72.9	72.9	74.6	74.9

< 墨田区学力向上新3か年計画における目標の達成状況 >

小学校においては、全15観点中、全国平均正答率以上の観点は12観点(平成28年度は6観点)であり、他の3観点についても、全国平均正答率との差は0.3ポイント以内である。

学年別にみると、第3～5学年は全ての観点で全国平均正答率を上回っている。平成28年度は、第3学年(本年度の第4学年)のみが全ての観点で全国平均正答率を上回っていたことから、現在の第3・5学年は、昨年度より上昇しているといえる。

観点別にみると、「読む能力」は全ての学年で全国平均正答率以上であり、他の観点も多くの学年で全国平均正答率を上回っている。平成28年度は、第3学年(本年度の第4学年)以外は全国平均正答率を下回っていたことから、昨年度より上昇しているといえる。

(2) 中学校

(単位：%)


観点	第1学年		第2学年		第3学年	
	墨田区	全国	墨田区	全国	墨田区	全国
読む能力	71.6	70.0	65.6	64.6	70.3	70.6
書く能力	67.4	65.7	72.1	65.7	69.4	70.2
言語についての知識・理解・技能	77.0	78.4	79.0	78.7	75.3	76.2

< 墨田区学力向上新3か年計画における目標の達成状況 >

中学校においては、全9観点中、全国平均正答率以上の観点は5観点(平成28年度は5観点)である。

学年別にみると、第2学年は全ての観点で全国平均正答率を上回っている。第3学年は全ての観点で全国平均正答率を下回っているが、全ての観点において、その差は1ポイント以内である。

観点別にみると、「書く能力」については比較的良好な結果であり、特に第2学年において全国平均正答率を大きく上回っている。

 は、区平均正答率が全国平均正答率を上回っている観点である。

4 「思考・判断力」の平均正答率について

本調査は、3ページ等にある教科ごとの「観点」とは別に、全ての問題を「基礎」「応用（思考・判断力）」「表現力」の3つの観点に分けている。ここでは、「応用（思考・判断力）」の平均正答率を示している。

(1) 小学校

(単位：%)

教科	第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	墨田区	全国	墨田区	全国	墨田区	全国	墨田区	全国	墨田区	全国
国語	68.4	68.0	60.3	57.6	61.5	57.4	74.0	72.5	65.0	62.8
社会					68.1	65.5	49.7	51.7	54.2	56.1
算数	59.2	58.8	60.4	56.5	72.2	67.9	50.9	52.3	57.4	58.0
理科					48.3	46.3	38.6	43.8	58.2	65.2

<墨田区学力向上新3か年計画における目標の達成状況>

小学校においては、全16観点中、全国平均正答率以上の観点は10観点（平成28年度は7観点）であり、第2～4学年は全ての教科で全国平均正答率以上である。


(2) 中学校

(単位：%)

教科	第1学年		第2学年		第3学年	
	墨田区	全国	墨田区	全国	墨田区	全国
国語	72.5	71.1	63.2	60.8	58.9	60.1
社会	58.5	62.4	49.5	49.7	40.6	42.3
数学	60.3	63.6	56.1	58.5	53.3	56.1
理科	50.2	55.9	33.6	37.2	56.5	59.7
英語			52.3	50.8	62.5	63.4

<墨田区学力向上3か年計画における目標の達成状況>

中学校においては、全14観点中、全国平均正答率以上の観点は3観点（平成28年度は2観点）であり、特に理科についてはどの学年も全国平均正答率を3ポイント以上下回っている。

 は、区平均正答率が全国平均正答率を上回っている観点である。

### 第3 意識調査の結果

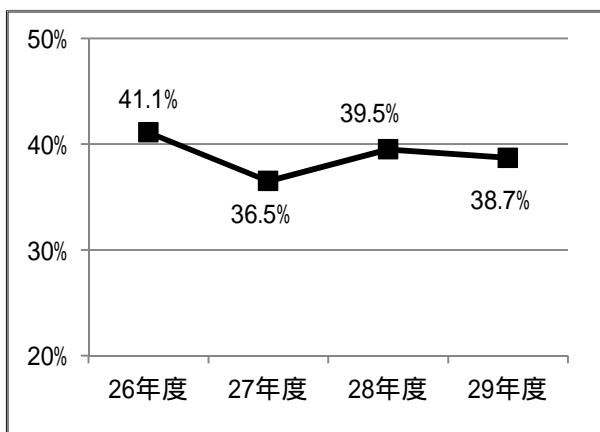
#### 1 授業に対する児童・生徒の意欲

意識調査の質問項目「学校生活の中で何日くらい、自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりして  
いますか。」 (単位：%)

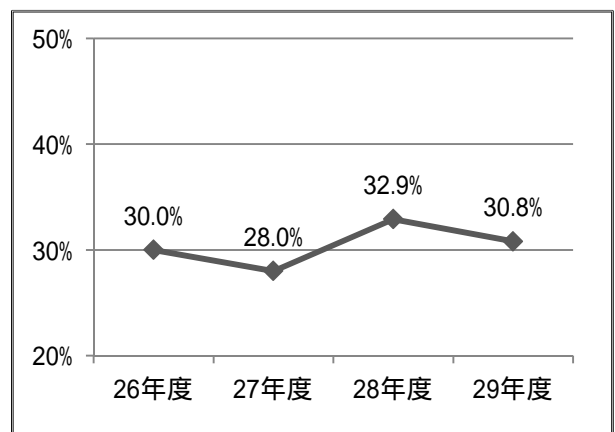
		1時間 3回以上	1時間 最低1回	1日 最低1回	発表しない 日もある	その他	1時間最低 1回以上
小 5	墨田区	16.0	32.0	21.6	29.4	1.0	48.0
	全国	16.8	34.0	22.6	26.1	0.5	50.8
小 6	墨田区	10.7	27.9	22.4	38.6	0.3	38.7
	全国	12.3	31.1	25.2	31.1	0.3	43.4
中 1	墨田区	8.6	28.1	27.1	36.1	0.2	36.7
	全国	9.7	30.0	26.9	33.1	0.3	39.7
中 2	墨田区	6.4	25.3	27.4	40.9	0.0	31.7
	全国	8.2	27.2	27.5	36.8	0.3	35.4
中 3	墨田区	6.9	23.9	26.7	42.4	0.1	30.8
	全国	7.3	24.6	29.0	38.9	0.3	31.9

「1時間最低1回以上、自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりしている。」と回答した、  
墨田区の経年比較

【小6】



【中3】



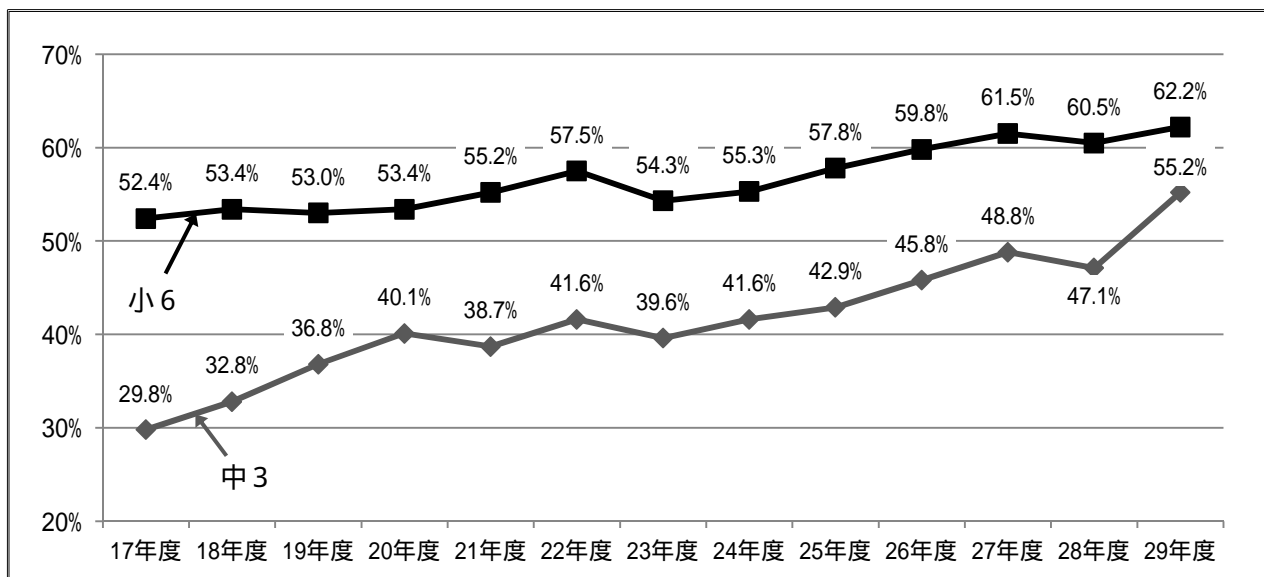
「学校生活の中で何日くらい、自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりしていますか。」という質問に対する、小学校第5学年以上の児童・生徒の割合、及び小学校第6学年・中学校第3学年の経年比較を表したものが、上の表やグラフである。

「1時間最低1回以上、自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりしている」と回答している児童・生徒の割合を比較すると、どの学年においても墨田区は全国よりも低い状況にある。児童・生徒の学習意欲を喚起するために、新しい学習指導要領の趣旨にある「主体的・対話的で深い学び」を重視するとともに、児童・生徒の学習意欲向上の取組の推進を図る必要がある。

## 2 児童・生徒の学習習慣

意識調査の質問項目「いつも、こつこつと学習していますか。」

(肯定的な回答をしている割合)(単位：%)



「いつも、こつこつと学習していますか。」という質問に対して、肯定的な回答をしている、小学校第6学年及び中学校第3学年の平成17年度からの推移を表したものが、上のグラフである。

このグラフからは、小・中学校ともに墨田区の児童・生徒が「こつこつと学習に取り組んできている」傾向が読み取れ、特に中学校においては、本年度大きく改善傾向がみられる。

## 3 児童・生徒の家庭学習の状況

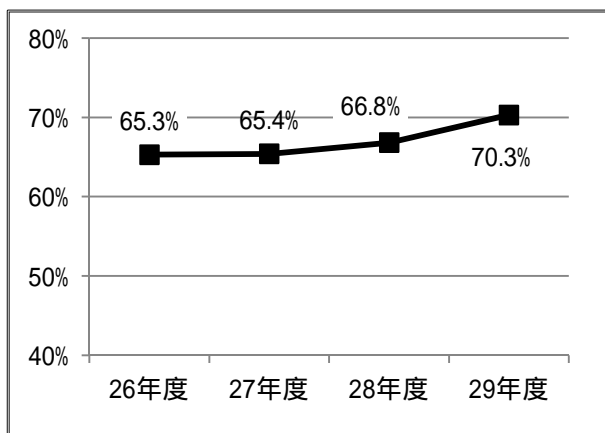
(1) 意識調査の質問項目「家で、週に何日くらい勉強をしますか。」

(単位：%)

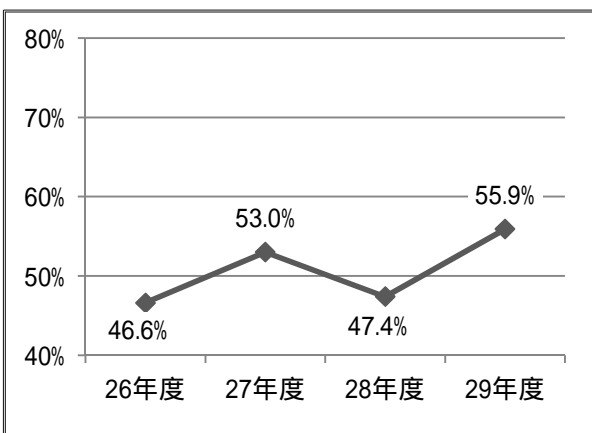
		ほぼ毎日	4～5日	2～3日	1日くらい	ほとんどしない	その他	4日以上
小6	墨田区	57.5	12.8	14.6		14.9	0.3	70.3
	全国	63.8	14.1	11.6		9.9	0.6	77.9
中3	墨田区	35.5	20.4	26.5		17.1	0.4	55.9
	全国	44.1	20.6	20.4		14.4	0.5	64.7

「家で、週に4日以上勉強している」と回答した、墨田区の経年比較

【小6】



【中3】



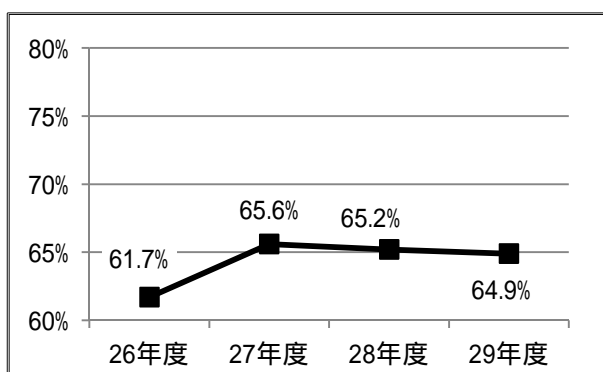
(2) 意識調査の質問項目「学校の授業以外に、平日は、1日にどれくらい勉強をしますか(塾等も含む)」

(単位：%)

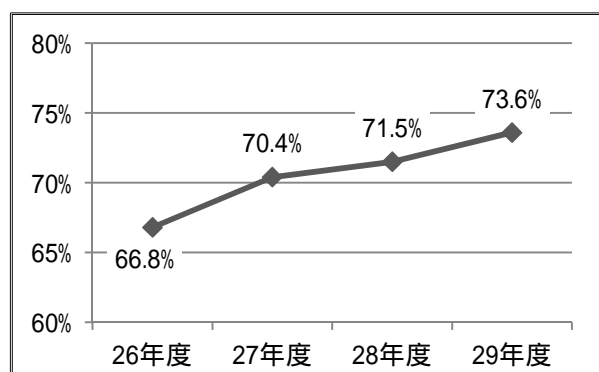
		全くしない	30分くらい	1時間くらい	2時間くらい	3時間くらい	4時間以上	1時間以上
小	墨田区	11.1	23.1	28.5	15.1	10.0	11.3	64.9
	全国	8.4	20.5	35.9	19.2	7.5	7.4	70.0
中	墨田区	10.1	15.9	27.3	34.1	10.1	2.1	73.6
	全国	8.6	12.9	24.2	32.3	16.2	5.2	77.9

「学校の授業以外に、平日に1時間以上勉強している」と回答した、墨田区の経年比較

【小6】



【中3】



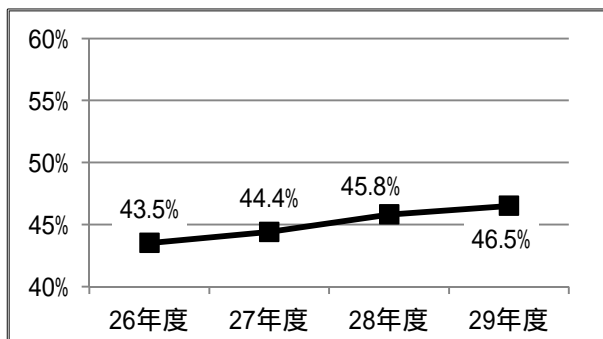
(3) 意識調査の質問項目

「土日や祭日など学校の休みの日は、1日にどれくらい勉強をしますか(塾等も含む)」(単位：%)

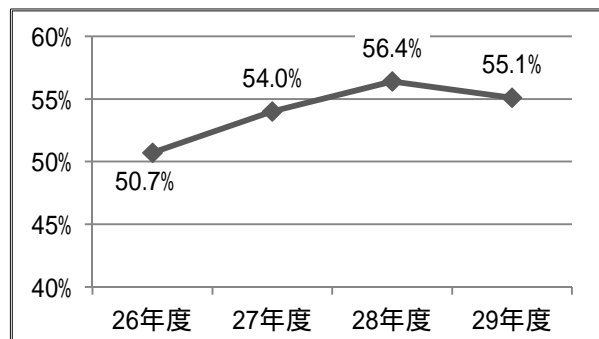
		全くしない	30分くらい	1時間くらい	2～3時間	4～5時間	6時間以上	1時間以上
小	墨田区	23.4	28.7	19.5	12.7	6.9	7.4	46.5
	全国	16.5	29.2	28.8	15.0	4.6	4.9	53.3
中	墨田区	24.4	20.3	25.0	24.3	5.1	0.7	55.1
	全国	15.4	15.0	23.0	31.4	10.6	4.0	69.0

「土日や祭日など学校の休みの日に、1日1時間以上勉強している」と回答した、墨田区の経年比較

【小6】



【中3】



小学校第6学年及び中学校第3学年の家庭学習の状況に関してまとめたものが、(1)～(3)の表やグラフである。家庭学習の日数や時間については、全ての意識調査の項目において、墨田区は全国よりも低い割合である。そのような中で、平成26年度から平成29年度までの墨田区の経年比較を見ると、小・中学校ともに家庭学習を行う児童の割合が徐々に増加してきている。

## 第4 調査結果を受けての取組

### 1 調査結果の公表

#### (1) 教育委員会の対応

区全体の傾向を示すため、「学年別、教科別、観点別の調査結果」及び「分析結果」を、区教育委員会ホームページで公表する。

#### (2) 学校の対応

ア 学校のホームページ等による「調査結果」及び「9月以降の学力向上プラン」の公表

自校の学年別、教科別、観点別の調査結果とともに、調査結果の分析、9月以降の学力向上を図るための全体計画（学力向上及び授業改善の方策）を、学校のホームページや学校だより等で公表する。

イ 児童・生徒及び保護者に対する「個人票」の返却

児童・生徒及び保護者に対して、保護者会や三者面談等の機会において、今後の課題や取り組むべきことを直接説明しながら、個人票を返却する。

### 2 学力向上を図るための主な施策

#### (1) 学習内容を振り返る機会の設定【拡充】

学期末（9月・1～3月）を「振り返り期間」として、各学校が、これまでに学習した当該学年の内容を復習する期間を設定する。振り返りに当たっては、単元ごとの「振り返りシート」を教材コンテンツに導入し、各学校が活用できるようにする。

#### (2) 学力向上ヒアリングの実施【継続】

年2回、全ての小・中学校長に対して、学力向上ヒアリングを実施し、9月以降に具体的な学力向上の取組を推進するため、指導・助言を行う。

本年度は、全ての教員が作成する「学力向上プラン」に、年度末の児童・生徒の姿を具体的に記述し、明確な目的をもたせるよう、計画書の様式を変更した。

#### (3) 「墨田区教育委員会のメッセージ」の作成【継続】

昨年度、全ての小・中学校の教員に対して、「児童・生徒の学習状況を把握し、分からなかったりできなかつたりする内容を、分かる・できるようにすること」の重要性をまとめて配布したメッセージの見直しを行い、本年5月に配布した。

#### (4) 教材コンテンツの整備【拡充】

各学校が活用できるよう整備されたICTに、本年度の学力調査で課題のある問題に関する提示教材を用意し、各学校での活用を図る。

特に理科については、間違いやすい内容の指導のポイントや宿題等をまとめ、授業のスタンダードとして示して各学校へ配布することで、授業の質を保障していく。

#### (5) 学習意欲の向上の研究【継続】

昨年度に開発した「学習意欲測定尺度」について、区内の小・中学校各1校を指定し、学習意欲向上の具体的アプローチに関する研究を、東京未来大学と行う。

(6) 学校における放課後補習等の支援【継続】

放課後補習や授業を行う際の地域人材の登録者数を増加し、各学校のニーズに応じた派遣を行うなどの支援を行っている。本年度は、すみだチャレンジ教室において児童・生徒へ指導している教育NPOを派遣し、放課後学習の充実を図っている。

(7) 「すみだ学力向上推進会議」の開催【継続】

「すみだ学力向上推進会議」を開催し、調査結果及び調査分析等から明らかとなった本区の児童・生徒の実態と課題に応じた取組について協議を行っている。本年度は、課題分析等の報告書で取り上げる問題の数を増やすこととした。

(8) 「調査分析分科会」による調査結果の分析・具体的活用【継続】

小・中学校の教員の代表によって構成された「調査分析分科会」において、区全体の調査結果を詳細に分析し、指導方法の工夫改善の提言を行う。また、小・中学校の教科別に「分科会」を代表する教員が公開授業（計9回）を実施する。

(9) 家庭学習の支援

ア 「すみだチャレンジ教室」の実施【継続】

学力に課題のある学校や児童・生徒を対象に、少人数指導を行う。

本年度は、これまでの「休日」「長期休業中」に加えて、放課後のコースを新設した。

イ 保護者対象の「学習状況調査結果等報告会」の開催【継続】

各小・中学校のPTA代表を対象として、区学習状況調査の分析結果とともに、効果的な家庭学習のあり方を取り上げた報告会を実施する。

昨年度に引き続き、東京未来大学の教授等を講師として、家庭における学習意欲の向上に関する講座を年3回開催する。

ウ 「中学校すたーとブック（仮称）」の検討【新規】

今年度は、小学6年生の保護者を対象に、中学校入学のための準備をまとめた「中学校すたーとブック（仮称）」を本年度中に作成・配布する。